

# ぐんぐん↑↑

R5.1.24

第 15 号



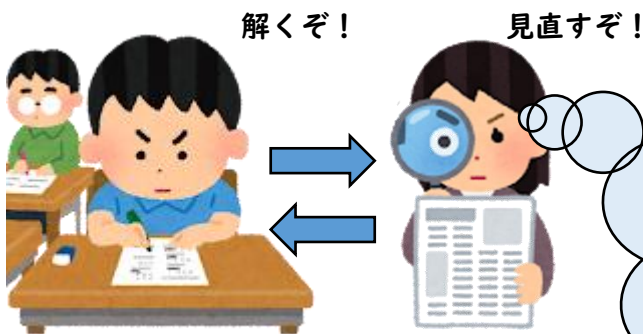
↑本校 HP



寒冷の候、ますますご盛栄のことと思います。保護者の皆様には本校の教育活動や家庭での学習活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。早いもので3学期も始まって2週間が経ち、1月も終わりにさしかかっています。良いまとめの時期にしたいです。

## ◇◇「見直し上手は、勉強上手！」◇◇

※例えば、算数の問題で考えてみると…



数を正しく書いている  
いくつ答えを選ぶのか 公式はあっているか  
数字の書き間違いはないか 約分・通分  
小数点 位をそろえる 正しい単位  
繰り上がりと繰り下がり 0の処理・場所  
順序正しい式 丁寧に名前 目盛り  
計算間違い 問題の解き忘れ(空欄はないか)  
答え方(～から、記号で、番号で)…

→これぐらい思いつきますね!

テストをしている時、家で宿題をしている時、学校でプリント学習をしている時…、子ども達はしっかりと「見直し」をしているのでしょうか。

松永が授業をしているクラスの子供たちには『見直し上手は勉強上手になるよ!』と声をかけています。特に算数の学習では、「見直すことで絶対に気付くのに、もったいない!」と思うような簡単なミスをしている子をよく見かけます。自分自身では解き終わったら全部解けていると思い込んでしまうので、ついつい油断してしまいます。大切なのは意識を切り替えることです。解き終わった後に一度気持ちをリセットして、もう一度0(ゼロ)から問題を解き直すような気持ちで見直しをするとうまくいきます。例えば、算数の問題を解いた時には、上記したようなことが見直しのポイントとして考えられます。もしかすると、内容によっては「長さは正しいか」とか「図形は正確に描くことができているか」なども考えられます。

国語ではどうでしょう。「習った漢字・カタカナは使っているか」、「送り仮名は正確か」、「正しい合っている漢字か」、「っ(促音)・ー(長音)・ゃゅよ(拗音)の使い方」、「理由の書き方(～から、ので)」、「正しい接続語の使い方」、「問われていることに正しく答えているか」…など、こちら問題によって様々で無限にありそうです。国語ならではの見直しのコツとして「一度書いた文章を読み直す」といいです。長い文章の時も短い文章の時も、必ず自分の書いた文を読み直すクセをつけるようにします。その時はできれば声に出して読むと間違った言葉遣いや言い回しに気付くことができます(音読ともつながります)。このように、テストや問題は1回最後まで解いたら「はい終わり!」というわけではなく、その後の見直しをしっかりとやりきることが大切です。

もちろん、これら以外の教科の学習でも見直しは大切です。見直しの仕方が上手になると、間違いが減り、内容も正確に理解し、表現できるようになっていきます。ぜひ、低学年のうちから見直し上手になってほしいです。「見直し上手は勉強上手だ」を合言葉にして、学校でもご家庭でも一緒になって、丁寧な見直しができる子ども達を育てていきましょう。



# ◇◇1月のノーテレビノーゲームスマホデー結果です◇◇

★は、今回気になるところ!

学年・月 達成率(%)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		全校	
	12月→1月		12月→1月		12月→1月		12月→1月		12月→1月		12月→1月		12月→1月	
①ノーテレビ	93	★81	89	★84	87	97	97	★83	88	91	97	★88	91	87
②ノーゲーム	96	89	97	89	91	93	94	91	94	97	87	★84	93	91
③ノースマホ	100	89	97	92	97	93	89	89	88	91	93	★78	94	89
④学習平均(分)	40分	41分	44分	39分	46分	42分	45分	42分	56分	★40分	47分	57分	46分	43分
⑤読書平均(分)	22分	23分	23分	21分	24分	30分	31分	26分	36分	33分	22分	21分	26分	26分
ぽかぽか読書	100	96	100	95	100	97	97	97	97	94	93	94	98	95
⑥家の仕事	100	100	100	92	100	100	94	97	100	94	93	88	98	95
⑦筆箱チェック	96	100	100	92	97	100	97	97	97	100	93	97	98	98

※新型コロナも含め、期間中に休んで取り組むことができなかった児童については、集計から外して実施した児童数で計算しています。

1月のノーテレビゲームスマホデーの取り組みご協力ありがとうございました。結果は上記の通りです。今月は3学期始業式当日ということもあり、午後からの時間が長く、ついついゲーム機やスマートフォン等に手が伸びてしまっ…という傾向でした。日々の中で、時間や期間を設けてそういった機器から離れる機会も大切です。今月はどの学年も①～③でもうひとがんばりが必要でした。さて、今回は枠で囲んでいる「④学習平均」に注目します。ノーテレビゲームスマホデーカードにも載せているように、毎日の学習時間目安は『低学年40分程度』、『中学年50分程度』、『高学年60分以上』です。用事や状況によって増減することはあると思いますが、やはり学年が上がるにつれて、宿題だけして「勉強終～わった!」ではなく、宿題に加えて今の自分に必要な予習や復習を少しずつでも追加してほしいと思います。「学習の質」も大事ですが「学習量」も同様に大切です。今よりあと10分ほど学習時間をとれると次の学年にもつながります。

## ◇◇子どもの達成感を高めるには…?◇◇

子ども達の学習において『達成感』を得ることはとても大切な動機付けになります。ここでいう達成感とは、周りの人から認められると感じて得られる達成感、言わば「外的な達成感」として紹介します。

まず言えることは、達成感を持つことができると子どもは次のような良さを感じます。①認められ自己肯定感が高まる、②何にでも意欲的にチャレンジする、③最後までがんばる、④周りの大人の言葉を信じる、⑤自信を持って自分で活動する、などです。これらを子ども達に感じてもらうために、学校や家族ができることは「あなたのがんばり(やっていること)を

しっかり見ているよ、認めているよと表現すること」だと思います。ここで大切なのは、その結果が正解であっても不正解であっても、その過程も含めて認め励ましてあげることです。「がんばった結果だけを認めるのではなく、がんばっているあなたそのものを認める」といいです。学校では授業の中で、ご家庭では日々の学習(宿題等)の中でして認めていきましょう。特に、保護者さんがサインやコメントをするプリントやノート等がありましたら、ぜひ短くても結構ですので一言コメントを書いていただきたいです。その励ましは文字として残るので声かけよりも子ども達にとってより達成感や満足感につながります。担任からと保護者さんからのコメントで「みんながあなたのがんばりを認めているよ」とメッセージを送っていく必要があります。

ファイト～!



お～!